

ハートパル

2014年
6月
145号



平成 26 年度 内閣府男女共同参画局「男女共同参画週間」の
キャッチフレーズは…

“家事場のパパチカラ”

6月23日から29日までの1週間は、「男女共同参画週間」です。内閣府では「男性が、企業人としても家庭人としても豊かな生活をおく
るために、長時間労働を減らして、女性と共に家事・育児・介護・地域
活動に関わりたくなるようなキャッチフレーズ」を募集し、応募総数
3,651点の中から、野田学園 平成 25 年度 4 年 C 組の皆さん（山口
県）の作品が最優秀作品として選ばれました。



詳しくは、内閣府ホームページ（右記）をご覧ください。 【 <http://www.gender.go.jp/> 】

男女共同参画社会ってどんな社会？

家族のパートナーシップが強化されると…

家庭生活の充実

個人の能力を最大限に発揮できれば…

職場に活気

地域コミュニティが強化されると…

地域力の向上



ひとりひとりの豊かな人生

仕事、家庭、地域生活など、多様な活動を自らの希望に沿った形で展開でき、男女がともに夢や希望を実現





2月22日に、“がんばってるよ！ 私たち”と題して市内で活躍している3人の方々による事例発表会を開催しました。その様子を、3回にわたり紹介しています。

最終回は、パパの絵本読み聞かせグループ「えほん侍」代表 岩崎 秀雄さんの
「育メン歩きつづけたら域メンへ。」

～嫁一番・子供2番・友達3番ぐらいにしとけの教え～



ラストに登場いただいたのは、愛妻家で育メンの岩崎秀雄さん。やんちゃな幼少期から哲学に目覚めた高校時代を経て、現在は家業である工務店で「お客様の人生を豊かにする、自然素材と共に生きる家を、手作りで作る暖かい工務店」をコンセプトに“家族の和”を提供されています。

そんな岩崎さんが抱く父親像はとてもシンプルで暖かです。妻の妊娠・悪阻をきっかけに始まったシェフ業では、まずは自分が食べたいものからチャレンジ！少しずつ子どもとの時間が増え、家事メンから育メンと化し、子どもと一緒に成長しながら親になったのだと話されました。そんな育メン生活の中で出会った“えほん侍”。活動の中から「パパがパパであることを楽しむことが域メンへのスタートになるのでは…」という答えに辿り着いたそうです。

父親が楽しむ姿を見て育った子どもは、大人になる事の楽しさと未来への希望を持つことができるのだと話されます。地域を通して親子で色々な人たちと出会い、交流することから一人の人として成長していくのです！と、熱いメッセージを届けて下さいました。

ハートパルまつり 2014

7. 5 (土) ~ 6 (日) 10:00~16:00 (両日)

場所：大村市男女共同参画推進センター

ご来場をお待ち
しています♪

各種ワークショップ

プリザーブドフラワーや
ガーデニング、ソーイング、
木工…etc

障害者施設による
パン&弁当&グッズ販売

利用団体活動発表

親子であそぼう！
あかちゃん広場

詳細は別紙チラシをご覧ください

相談室

のご案内



無 料
秘密厳守

- ・電話相談
- ・面接相談(できれば事前にお電話を。)
- ・月曜～金曜 午前9時～午後5時
- ※ 電話番号は下記のとおり

《 連絡先・問合せ先 》 大村市男女共同参画推進センター「ハートパル」

〒856-0825

大村市西三城町8番地 総合福祉センター3階

TEL：0957-54-8715 Fax：0957-54-8700

Eメール：danjyo-s@city.omura.lg.jp

利用時間 9:00～22:00

問合せ時間 8:30～17:30

(年末年始は休館)